

## 第61回北海道高等学校弓道競技選手権大会釧根支部予選大会 要項

- 1 主 催 北海道高等学校体育連盟釧根支部 北海道弓道連盟東部地区 釧路地方弓道連盟
- 2 主 管 北海道高等学校体育連盟弓道専門部
- 3 後 援 釧路市 釧路市教育委員会 釧路市スポーツ協会  
当 番 校 北海道釧路湖陵高等学校 (釧路市緑ヶ岡3丁目1-31)
- 4 期 日 令和8年5月22日(金) 8:40~16:30
- 5 競技日程 監督主将会議 8:40~ 8:55  
開 会 式 9:05~ 9:15  
競 技 9:30~16:10  
閉 会 式 16:20~16:30
- 6 会 場 釧路市鶴ヶ岱武道館弓道場 (釧路市鶴ヶ岱1丁目10番35号)
- 7 競技種目 近的競技(男子・女子団体および個人の部)
- 8 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び全国高等学校弓道大会競技運営細則、  
北海道高等学校弓道大会競技規則による。
- 9 競技方法 (1) 団体の部
  - ① 各校とも参加申込書の登録順に5名が出場し、一人12射、計60射を行い、的中数により順位を決定する。(ただし本大会は選手3名以上をもって団体と認める)
  - ② 同中の場合は一人1射ずつの競射を行い決定する。
  - ③ 行射順番は事前に抽選する。※(今年度は男子→女子の順で行う)(2) 個人の部
  - ① 1次予選は、一人8射を行い、的中数4中以上のものが2次予選に進出する。団体出場者は、最初の8射を個人の成績とする。予選通過者が6名未満の場合は、不通過者の中の上位者から順位決定の遠近競射を行う。(ただし、不通過者は2次予選及び決勝には参加できない)
  - ② 2次予選は、一人4射を行い、的中数2中以上のものが決勝に進出する。予選通過者が6名未満の場合は、不通過者の中の上位者から順位決定の遠近競射を行う。2中者で不足の場合は1中者・0中者でも行う。
  - ③ 決勝は、射詰により順位を決定する。的中を失った同位者は遠近競射により順位を決定する。ただし、最上位および全道大会出場者を決定するときに限り射詰を続行する。射詰において、5射目以降は24cm星的使用する場合がある。遠近競射による順位決定は最上位決定後に行う。  
\*射詰競射で2本続けて的を外した場合は、遠近競射で順位を決定する。(3) 競技時間の制限
  - ① 時間制限は特に設けない。しかし、極端に遅すぎたり、早すぎたりして、他の者の射の妨げにならないように心がける。行射の間合いは弦音打起しを原則とする。その他については進行係や審判の指示に従う。(4) 選手の交代
  - ① 団体選手の交代は、参加申込書に記載された選手以外認められない。
  - ② 団体競技の先発メンバーは登録順の5名とし、選手の交代は3回まで認める(交代した選手の再出場はできる)。
  - ③ 交代は一回につき補欠1名の場合は1名、補欠2名の場合は2名以内とする。
  - ④ 選手の交代は第2控に入るまでにそれぞれ交代用紙に記入し監督より届け出ること。
  - ⑤ 所定の交代をした後、選手に事故が生じ欠場する場合は欠員のまま団体とする。
  - ⑥ 個人の部の選手交代は認められない。(5) 行射
  - ① 坐射とする。(ただし、時間によって立射になる場合がある)
  - ② 追い越し発射は認めない。
  - ③ 弦切れ、その他の事故があったときは、審判員の指示に従うこと。

- ④ 矢つがえ後の筈こぼれは無効となる。矢つがえ後とは、矢をつがえてから妻手を右腰に据えた時とする。
- ⑤ 競技進行中の行射中止の指示は的前における赤旗の掲示と射場内における進行係の指示によって行い、ただちに行射を中止する。再開指示は赤旗を撤去、係が指示をする。

(6) 射遅れ

- ① 競技では射遅れのないように注意する。
- ② 点呼時（第2控から第1控〈本座〉に移動するまで）に集合しない時は、その回に限りその選手は棄権とする。そのために団体の人員に欠員が生じても欠員のまま団体とする。

(7) 弓具

- ① 選手は定められた弓具を使用する。
- ② 押手以外の補助具は原則として認めない。
- ③ 各自四ツ矢の他に、筈打ち・筈割れなどの損傷や競射の際に使用する替矢を持参すること。
- ④ 弾の紐は危険防止のため小さく結び、止め具の使用は禁止する。
- ⑤ 弓および矢に照準・目印をつけてはならない。
- ⑥ 同一団体、または同一の立においての弓具の共用はできない。
- ⑦ 点呼時に弓具、服装の点検を受けるものとする。

10 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒。
- (3) 選手は、「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入したもの、または加入の意思のあるもの。
- (4) 平成19年（2007年）4月2日以降に生まれたもの。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程による混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
  - ① 部員不足に伴う合同チーム  
詳細は、全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規定」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」及び、北海道高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム編成（北海道）の申し合わせ」による。
  - ② 統廃合対象校による合同チーム  
(統廃合完了前の2年間に限る)
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (8) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長が支障ないと判断したものとする。
- (9) 高等専門学校については第3学年までの19歳未満のものに限る。

11 チーム編成等

- (1) 団体の部は、選手5名・補欠2名・監督1名とする(選手が3名未満及び男女混成は認めない)
- (2) 引率責任者は当該校の教職員とする。監督は学校長の認める指導者とする。監督が外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に加入していることを条件とする。

12 参加申込・参加料

※ 個人情報について

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

(1) 申込方法

- ① 参加申込書に記入し、参加料を添えて5月7日（木）までに当番校に申し込む。

※プログラム作成のため、メールでの申し込みにご協力ください。申込書の様式は、各学校に配布済みのものをお使いください。不明な場合は当番校まで申し出てください。

申込先メールアドレス: [eme707773@hokkaido-c.ed.jp](mailto:eme707773@hokkaido-c.ed.jp) 担当：多田

- ② 立射ができない場合は  
 ア 先天的に障害があつてできない場合は、参加申込書の備考欄にその旨を記入するとともに、「立射等の申請書」を添えること。  
 イ 怪我などによってできない場合は、事前に「立射等の申請書」を添えること。

(2) 申込先

〒085-0814 釧路市緑ヶ岡3丁目1-31 TEL 0154-43-3131  
 FAX 0154-36-3134  
 北海道釧路湖陵高等学校 弓道大会事務局 (担当 一多田)

- (3) 大会参加料 団体 1チームにつき2,500円(男女別)  
 上記団体(7名)に登録されていない個人出場者 1名につき100円

13 競技上の諸連絡

(1) 射場内心得

- ① 選手は射場内において、進行係及び審判の指示により行動する。  
 ② 選手は必要以外の物を射場内に持ち込まない。替矢、替弦等は監督または控えの者に預ける。  
 ③ 射場内での発声及び応援は厳禁とする。  
 ④ 応援は射場外で行い、「よし」の発声または皆中時の拍手にとどめ、その他による射術上の指示は禁止する。

(2) 競技の服装は次の通りとする。

- ① 弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一する事。  
 ② 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは、不可とする。  
 ③ 弓道衣に校名・校章を入れる場合は、片袖に限る。大きさは縦横10cm以内とする。  
 ④ 弦が当たる恐れのあるときは、はちまきを強制する場合がある。  
 ⑤ はちまきを使用する場合は、長さは肩までとし、無地のものとする。なお、校名・校章・氏名に限りいれてもよい。  
 ⑥ 団体の部の選手のはちまきは、チームで同じ色を用いること。  
 ⑦ リボン・ピアスなどの装身具等は着用しないこと。  
 ⑧ 髪を束ねるゴムの色は、黒・茶のみとし、バレッタ等の使用は禁止する。頭髮をはらう事による事故を防止するために髪が肩に掛かる場合は結ぶ。髪が右ほほにかかるとは耳にかける。ヘアピンを使用する場合は、華美でなく数量も必要最小限にとどめる。

(3) その他

- ① 試合当日の試合会場での練習は禁止とする。  
 ② 競技会場では、壁・柱などを使用した弓張りを禁止する。  
 ③ 立射、取り矢ができない場合は申請書を提出するとともに、申込用紙の備考欄に記入する。  
 ④ 弓を共用する場合は申込用紙の備考欄に記入する。  
 ⑤ 団体の部は5人立1射場で実施する。団体の部終了後に、個人戦のみ出場者と団体戦出場者のうち2立が完了していない者の個人1次予選を、3人立2射場で行う。  
 ⑥ 矢取りは各校の生徒で協力しながら行う。

14 表彰等

- (1) 団体の部 男女とも各2位まで 個人の部 男女とも各6位まで  
 (2) 全道大会出場資格

団体の部 男子は上位2校、女子は優勝校。

個人の部 男子は上位3位、女子は上位3位までとする。

\*全道大会は令和7年6月16日(火)～18日(木)に札幌市を会場として開催されます。

(当番校—市立札幌清田高等学校)

- 15 その他 (1) 全国高体連弓道専門部加盟金の納付を同時にお願ひします。
- 納付金額 団体1校4,000円(男子部員のみまたは女子部員のみ場合は2,000円)
- 納付先 高体連釧根支部弓道専門委員 多田昌弘(北海道釧路湖陵高等学校)
- 大会当日、持参してください。
- (2) 競技の運営のため、大会役員補助を依頼することがあります。協力を願ひします。